

## “レッツ・トライ”「可燃ごみ10%減量化大作戦」の結果

【目標：一人1日あたりの可燃ごみ量638.4gの達成】

9月の「可燃ごみ10%減量化大作戦」の結果は、目標との差はまだありますが、8月分との比較では、98.3グラムの減少となりました。

6月分に次ぐ低い重量となります。この減少傾向が継続されますよう引き続き住民みなさんには、生ごみの水切り徹底のご協力をお願いします。

月	一人1日あたりの可燃ごみ量（結果）	目標との差
6月分	713.1グラム	+74.7グラム
7月分	763.8グラム	+125.4グラム
8月分	831.3グラム	+192.9グラム
9月分	733.0グラム	+94.6グラム

### 生ごみの水切り方法のご紹介

家庭から出る生ごみの水分量は、約8割とされています。生ごみの水切りをすることで重量の10%が減量できると言われていています。また、生ごみの臭いの原因は、生ごみに含まれている水分です。

水切りをすることで、臭いを抑えることができます。

【主な水切り方法】

- 手でしぼる！（確実に水切り効果の高い方法です）
- 三角コーナーを斜めに傾ける！（水分がたまるのを防ぐことができます）
- 野菜など使わない部分はぬらさない！ ○排水溝の水切りネットを浅くする！
- 水切りグッズを使ってみる！（様々なものが売られています。使いやすいものを探してみましょう）
- 水切り道具を自作してみる！（ペットボトル（2ℓ程度）を飲み口から下（10～12cm程度）で切り、飲み口にボトルを切った内側からネットの口を通します。ペットボトルは下方向に、ネットは上方向に引っ張り合うと、手を汚さずに生ごみの水切りが出来ます）



〈注意〉安全と補強のため、使用する前にペットボトルの切り口を必ずビニールテープなどで巻いてください。

### ごみを減らす10アクション

7アクション目のご紹介は、「できるだけ簡単な包装にしてもらおう」です。

例えば、靴を購入する際、箱が必要なければお店で処分してもらう。贈りものとして商品を購入するときは、お店の人が丁寧に贈り物を包んでくれますが、家族や親せきなど身内に渡す場合は、簡易包装やリボンだけにしてもらうなど、ちょっとした行動がごみの減量につながります。

※問い合わせは、環境整備課（クリーンセンター） ☎83-2110

**スギ・ヒノキの間伐材を買い取ります**

町では、奥多摩の山林で伐採されたスギ・ヒノキの有効活用を図るため買い取りをしています。

また、買い取りの一部を地域通貨『奥』（地域通貨取扱店34店舗で利用可）を活用する事で地域の活性化を図ります。

買い取りは、森林組合事務所下の集積所まで運搬できる方で、2メートル以上の間伐材が対象です。なお、木材搬出機器およびクレーン付トラックの貸出も行っています。

◎機器により運転資格が必要が必要です。

◎木材搬出には事前登録が必要です。

※申し込み、問い合わせは、観光産業課

☎83-2295